

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成31年3月8日

松本地域振興局

提出区分	実績				
整理番号	9	課題区分	C		
実施機関	松本地域振興局		担当課	所属	松本地域振興局企画振興課
事業名	歴史遺産観光資源化事業			電話	8-239-2378
			E-mail	matsuchi-kikaku@pref.nagano.lg.jp	
事業概要等	目的 (目指す姿)	松本地域の歴史遺産の観光資源化を図る。			
	現状と課題	平成28年に「拾ヶ堰」が世界かんがい施設遺産に、平成29年に「小笠原氏城跡」が国史跡にそれぞれ登録、指定された。また平成30年には「牛伏川階段工」が完成後100周年を迎えるなど、管内の歴史遺産が注目を集めており、これらの歴史遺産の観光資源としての活用が期待されている。			
	内容 (変更後の内容)	歴史遺産の観光資源化を図るため、プロジェクトチームを設置し、以下の事項を実施【実施事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・歴史遺産の整理 ・有識者(アドバイザー)からの意見聴取 ・観光資源としての活用方法の検討 等 			
	事業期間	平成30年5月		～	平成31年3月
	成果目標 (成果指標)	歴史遺産の観光資源化を図るための具体的取組の決定			
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実施額	備考	
	プロジェクトチームの設置等	アドバイザー報酬及び旅費等	26,580		
	合 計		26,580		
事業実績・成果	事業実績		事業の成果		評価
	以下のとおり、歴史遺産のネットワーク化を図るため、プロジェクトチームを設置し検討を行った。 1 構成員:管内県現地機関担当者等 2 アドバイザー: 県立歴史館館長 笹本正治氏 NPO法人善光寺街道歩き旅推進局 理事長小瀬佳彦氏 3 検討状況 ・アドバイザーの意見聴取(4回) ・プロジェクトチーム会議による検討(2回) ・その他市村や観光関係者等の意見聴取等		以下のとおり、各遺産等を関連付けて観光PRするための3つのテーマを選定した。 【テーマ】 ・自然と闘い、自然とともにある松本平～砂防遺産・農業水利遺産～ ・今に伝わる近代産業発展の足跡 養蚕・ワイン巡り ・人を育む信州教育の源流、学び舎巡り		<input type="radio"/> 期待以上 <input checked="" type="radio"/> 期待どおり <input type="radio"/> やや下回る <input type="radio"/> 期待以下
今後の方向性	選定したテーマに基づき、具体的な取組を進め、歴史遺産の観光資源化を図る。				